

ロッドフェンス RF12

施工説明書・取扱説明書

このたびは、ノイラウム「ロッドフェンス RF12」をお買い上げくださいまして有難うございました。
下記の説明書をよくご覧の上、正しく施工を行ってください。また、ご使用前にこの説明書を必ずお読みの上、
正しくお使いください。

■施工上の注意事項

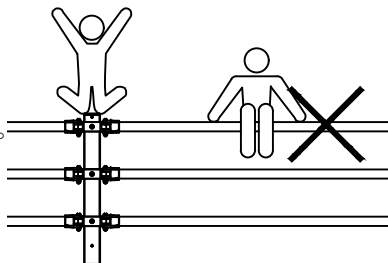
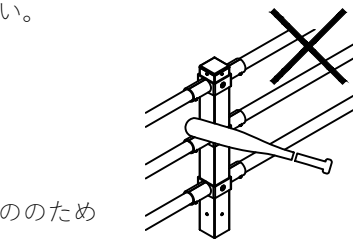
- ・施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- ・芯材、カバー材、抑え金具は必ず水平・垂直、設計位置、設計高さになるように施工を行ってください。
- ・危険と思われる場所や、緊急避難用通路の妨げになるような場所に設置しないでください。
- ・設置場所に対し適切な基礎サイズ、型枠を選定し施工を行ってください。
- ・ボルト類の締め付けは全て確実に行ってください。
- ・付属の部品以外は使用しないでください。
- ・設置後、ボルト類のゆるみやガタつきなどがなければ定期的に点検を行ってください。
- ・モルタル、コンクリートに海砂を使用しますと塩分が大量に含まれており腐食の原因となりますので、使用を避けていただくか十分水洗いしたものを使用してください。
- ・施工時に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃を行ってください。
- ・芯材に傷をつけますと腐食しやすくなりますので取り扱いに十分注意してください。
- ・モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がある場合があります。使用を避けていただくか腐食の発生や促進作用がないものを使用してください。
- ・モルタルやコンクリートの抽出液は、シミやムラ等の外観不良や腐食の原因になります。製品に付着しないよう注意してください。
- ・電線や水道管などの埋没物に注意してください。

■使用上の注意事項

- ・製品の上に重量物を落としたり、堅いもので叩いたりすると、表層材の割れ、へこみ、キズの原因となります。
- ・製品本来の目的以外の用途で使用、施工説明書に記載していない施工や加工を行わないでください。
- ・屋根などからの落雪の恐れがある場所に設置を行わないでください。
- ・同色の製品間で若干のばらつきがありますので、予めご了承ください。
- ・製品を火気使用箇所に設置しないでください。
また、火のついたタバコを置いたり、近づけたりしないでください。
- ・製品を保管する場合は、平らな屋内で保管を行ってください。
- ・柱に雨シミができることがあります、製品に含まれる木粉中の成分が雨水に溶出してできるもののため有害ではありません。
- ・柱に傷、汚れが着いた場合は、＃60程度のサンドペーパーで削ることにより補修することができます。
なお、強く何度も擦ると基材部が出てきますので削りすぎには注意してください。
- ・製品や部材、塗装の経年劣化（使用に伴う摩耗、消耗、ビスのゆるみ、変色、変質）または、これらに伴うサビ、カビなど
その他類似品の不具合について当社では責任を負うことができません。

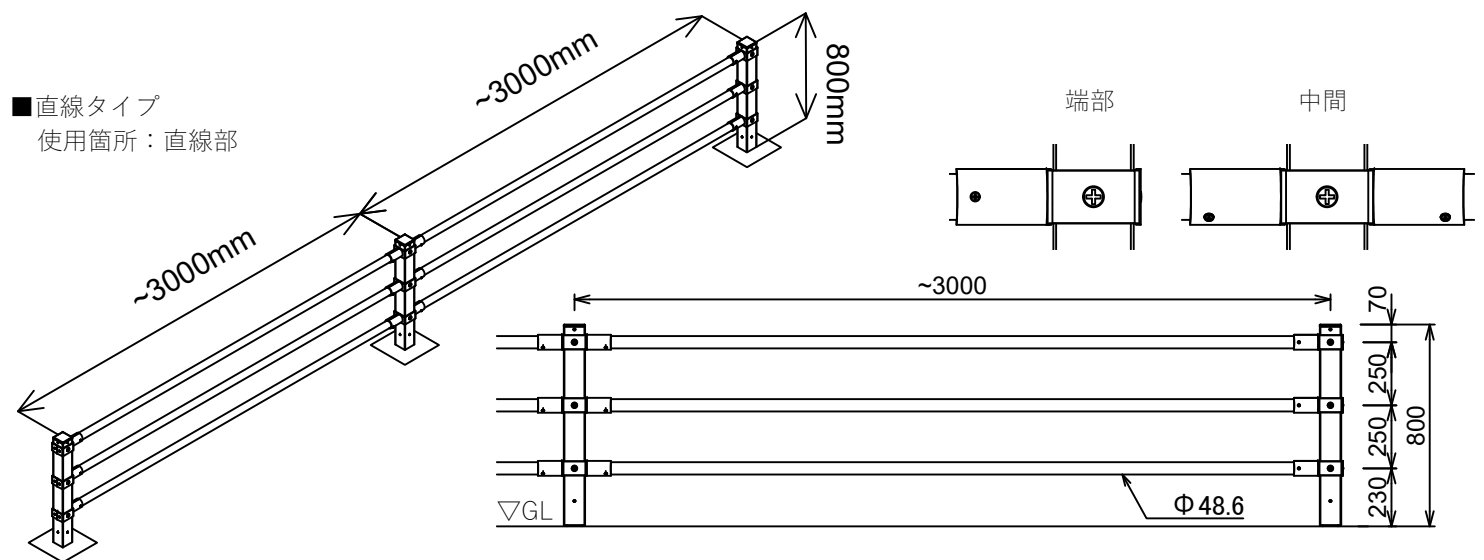
■安全上の注意事項

- ・製品の上に登ったり、飛び跳ねたり、腰掛けたりしないでください。
製品が破損する恐れや、けがをする可能性があります。
- ・隙間に手や足を入れないでください。
- ・強い振動、衝撃のあるところで使用しないでください。
- ・本製品は歩行者自転車用柵P種基準です。車が衝突する恐れがある場所で使用する場合は
別途安全対策を行ってください。また、人が転落する恐れのある場所では使用しないでください。
- ・歩道側に袋ナットを設置すると歩行者のケガや衣服類の破損につながる恐れがありますので
注意してください。
- ・人災、天災、地変、その他不可抗力による破損によって生じるトラブルについては当社で責任を
負うことができません。
- ・夏期の直射日光下で表面が高温になる場合がありますので注意してください。

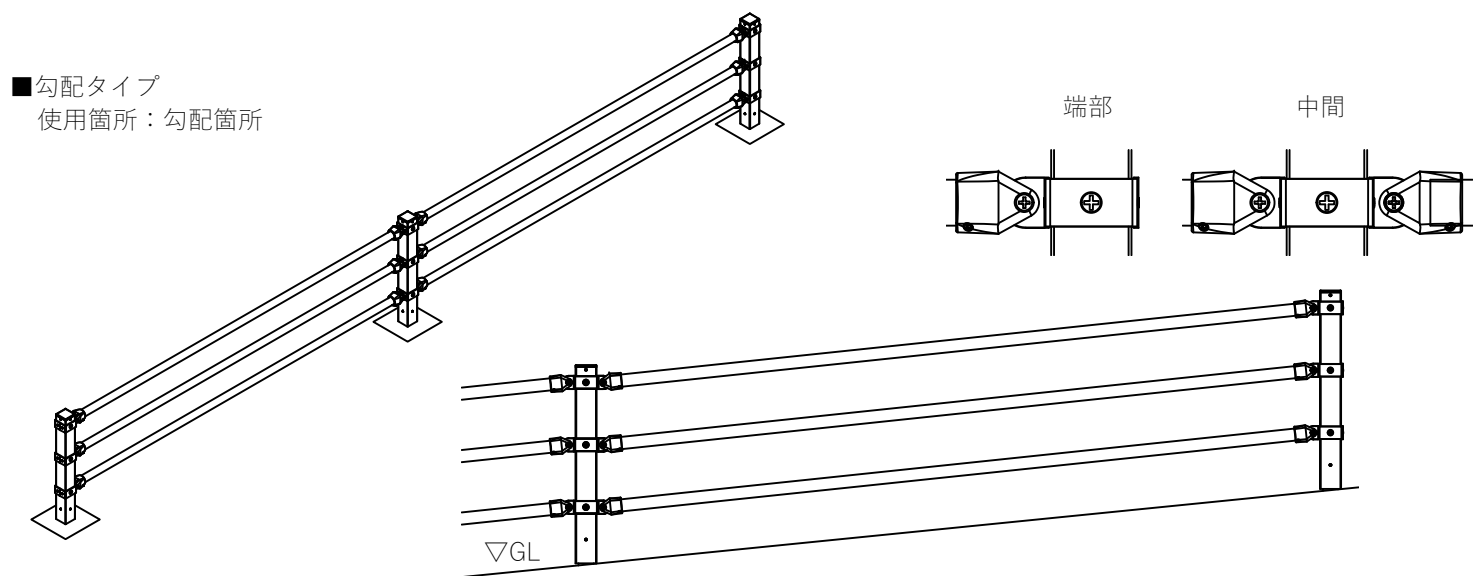


■姿図

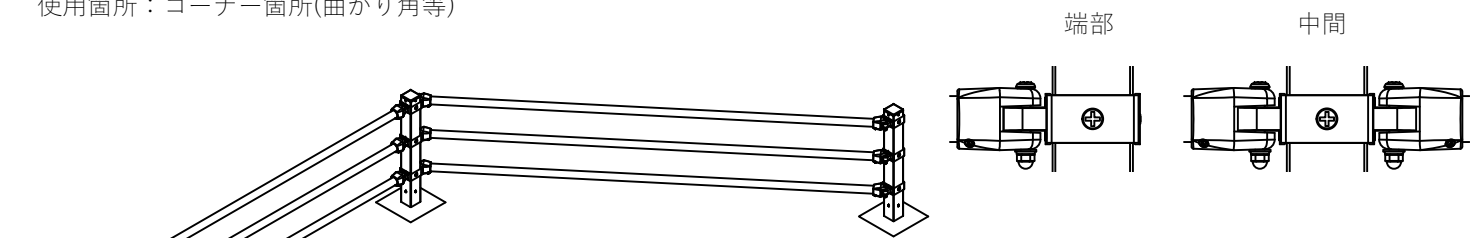
■直線タイプ 使用箇所：直線部



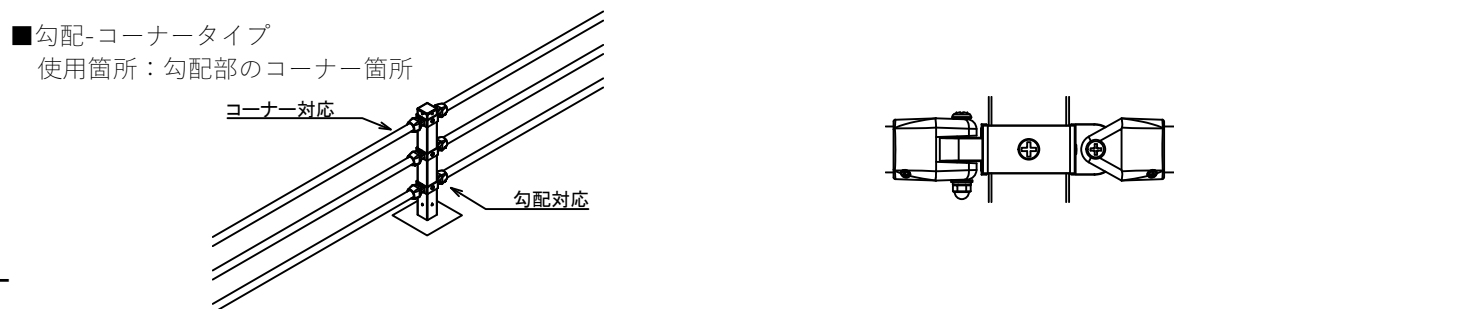
■勾配タイプ 使用箇所：勾配箇所



■コーナータイプ 使用箇所：コーナー箇所(曲がり角等)



■勾配-コーナータイプ 使用箇所：勾配部のコーナー箇所



■部材一覧

- 開封時に種類と数量の確認を行ってください。
(ボルト類の袋の内容も確認を行ってください。)
- 商品に異常がないか確認を行ってください。















- ご準備いただくもの
- 掘削できるもの
 - コンクリート
 - 型枠
 - 芯材を抑えることができる材料
 - パイプレータ
 - スケール
 - インパクトドライバー














- Φ3.5ドリルビット
 - いじり止め穴付きビット T20
 - いじり止め穴付きドライバー T20
 - またはいじり止め穴付きL型レンチ T20
 - プラスビットNo.2
 - プラスドライバーNo.3
 - またはプラスビットNo.3
 - M10用レンチ、スパナまたはソケット

















■梱包内容

















ビーム材
ビーム材 ×3


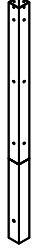














※ビーム材は1スパンにつき3本使用します。
長さ調整が必要な場合は次項以降の施工方法を参照しながら適正な長さにカットを行ってください。

















直線タイプ端部			
カバー材	根巻用芯材	ボルトセット	金具
カバー材 ×1  ゴム ×10 (予備2含)	根巻用芯材 ×1 	寸切りボルト ×1個  ワッシャー ×3個  ナット ×2個  スプリングワッシャー ×3個  いたずら防止ビスL=30 ×5個  袋ナット ×3個  いたずら防止ねじL=20 ×5個  ナベビス4×25 ×7個 (予備1含)  皿小ねじ L=110 ×3個  平頭ビス5×35 ×7個 (予備1含) 	歩道側 ×3  車道側 ×3 


















直線タイプ中間			
カバー材	根巻用芯材	ボルトセット	金具
カバー材 ×1  ゴム ×10 (予備2含)	根巻用芯材 ×1 	寸切りボルト ×1個  ワッシャー ×3個  ナット ×2個  スプリングワッシャー ×3個  いたずら防止ビスL=30 ×5個  袋ナット ×3個  いたずら防止ねじL=20 ×5個  ナベビス4×25 ×14個  皿小ねじ L=110 ×3個  (予備2含)	歩道側 ×3  車道側 ×3 

勾配タイプ端部			
カバー材	根巻用芯材	ボルトセット	金具
カバー材 ×1  ゴム ×10 (予備2含)	根巻用芯材 ×1 	寸切りボルト ×1個  ワッシャー ×9個  ナット ×2個  スプリングワッシャー ×9個  いたずら防止ビスL=30 ×5個  袋ナット ×9個  いたずら防止ねじL=20 ×5個  ナベビス4×25 ×14個  皿小ねじ L=110 ×3個  平頭ビス5×35 ×28個  ナベ小ねじL=80 ×6個  ※予備を含むものがあります。	歩道側 ×3  車道側 ×3  勾配キャップ ×3 

勾配タイプ中間			
カバー材	根巻用芯材	ボルトセット	金具
カバー材 ×1  ゴム ×10 (予備2含)	根巻用芯材 ×1 	寸切りボルト ×1個  ワッシャー ×9個  ナット ×2個  スプリングワッシャー ×9個  いたずら防止ビスL=30 ×5個  袋ナット ×9個  いたずら防止ねじL=20 ×5個  ナベビス4×25 ×14個  皿小ねじ L=110 ×3個  平頭ビス5×35 ×28個  ナベ小ねじL=80 ×6個  ※予備を含むものがあります。	歩道側 ×3  車道側 ×3  勾配キャップ ×6 

コーナータイプ端部			
カバー材	根巻用芯材	ボルトセット	金具
カバー材 ×1  ゴム ×10 (予備2含)	根巻用芯材 ×1 	寸切りボルト ×1個  ワッシャー ×9個  ナット ×2個  スプリングワッシャー ×9個  いたずら防止ビスL=30 ×5個  袋ナット ×9個  いたずら防止ねじL=20 ×5個  ナベビス4×25 ×14個  皿小ねじ L=110 ×3個  平頭ビス5×35 ×28個  ナベ小ねじL=80 ×6個  ※予備を含むものがあります。	歩道側 ×3  車道側 ×3  コーナーキャップ ×3 

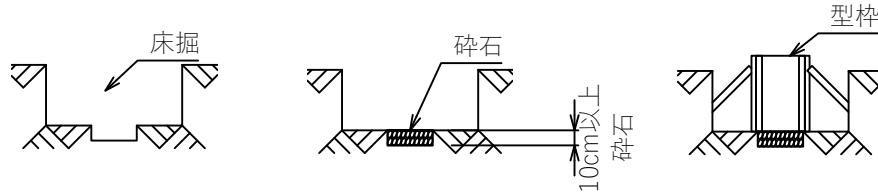
コーナータイプ中間			
カバー材	根巻用芯材	ボルトセット	金具
カバー材 ×1  ゴム ×10 (予備2含)	根巻用芯材 ×1 	寸切りボルト ×1個  ワッシャー ×9個  ナット ×2個  スプリングワッシャー ×9個  いたずら防止ビスL=30 ×5個  袋ナット ×9個  いたずら防止ねじL=20 ×5個  ナベビス4×25 ×14個  皿小ねじ L=110 ×3個  平頭ビス5×35 ×28個  ナベ小ねじL=80 ×6個  ※予備を含むものがあります。	歩道側 ×3  車道側 ×3  コーナーキャップ ×6 

勾配-コーナータイプ			
カバー材	根巻用芯材	ボルトセット	金具
カバー材 ×1  ゴム ×10 (予備2含)	根巻用芯材 ×1 	寸切りボルト ×1個  ワッシャー ×9個  ナット ×2個  スプリングワッシャー ×9個  いたずら防止ビスL=30 ×5個  袋ナット ×9個  いたずら防止ねじL=20 ×5個  ナベビス4×25 ×14個  皿小ねじ L=110 ×3個  平頭ビス5×35 ×28個  ナベ小ねじL=80 ×6個  ※予備を含むものがあります。	歩道側 ×3  車道側 ×3  勾配キャップ ×3  コーナーキャップ×3 

■施工手順（直線タイプ）

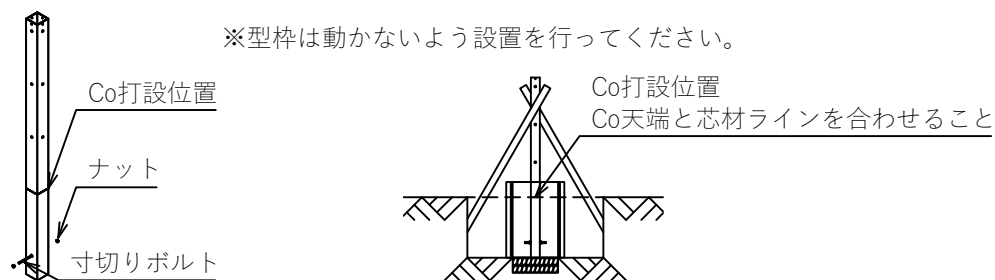
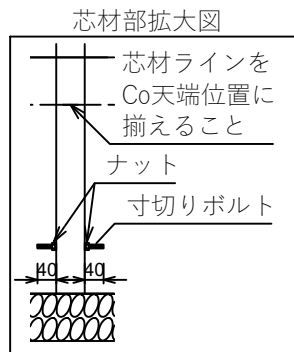
手順1 床掘、碎石、型枠設置

- 打設するコンクリートサイズより妥当な範囲で床掘を行ってください。
その後10cm以上の厚さで碎石を施工し、打設する場所にコンクリートの側圧に耐えられ脱型が行える型枠の設置を行ってください。
なお、コンクリートサイズはN値より妥当なサイズ設定を行ってください。
N値が10の場合「防護柵設置基準・同解説 ポラード設置便覧」では300mm×300mm×高さ400mmと規定されています。



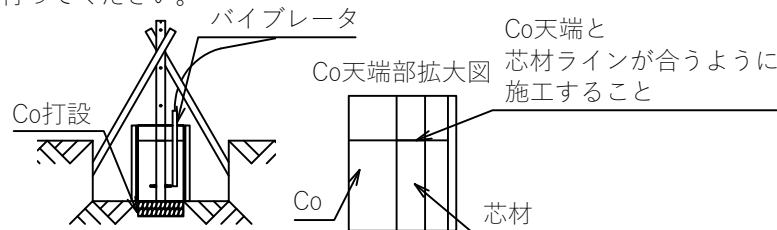
手順2 芯材設置

- 芯材の設置は、図面を参照し芯々ピッチ及び芯材の向きに注意して行ってください。
設置位置・高さ・角度が異なるおよび垂直となっていない場合、ビーム材が取り付けられない恐れがあります。
- 芯材は垂直に設置を行ってください。
- 芯材に寸切りボルトを入れナットで挟み込んで固定を行ってください。
その際寸切りボルトの出幅が左右対称としてください。
- 芯材に線がついていますので、線がコンクリート天板に来るよう設置を行ってください。
その際コンクリート打設時に芯材が動かないようしっかりと固定を行ってください。



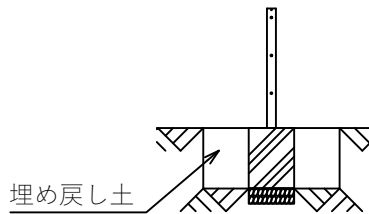
手順3 コンクリート打設

- コンクリート打設を行ってください。
その際ジャンカなどができないようバイブレータによる締固めを行ってください。



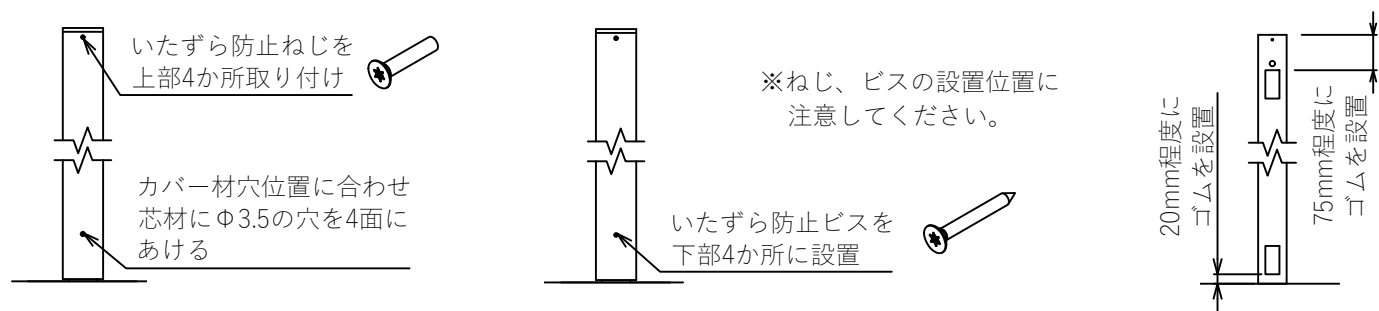
手順4 脱型埋め戻し

- 適正期間、方法でコンクリートを養生し、脱型を行い埋め戻しを行ってください。



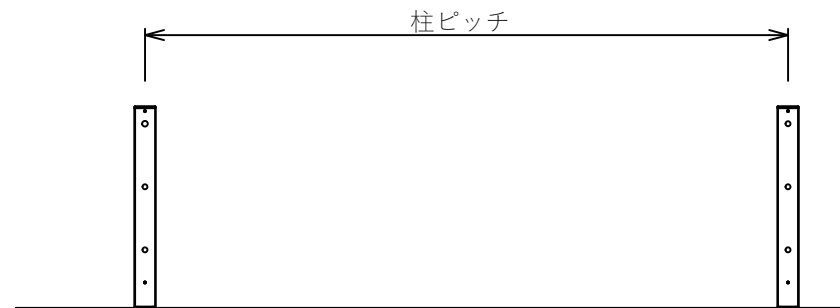
手順5 カバー材設置

- 芯材に同梱しているゴムを上部に4枚、下部に4枚貼り付けを行いカバーをかぶせてください。
この際、カバーの向きに注意してください。穴が縦に3箇所開いた側面が手順7の抑え金具取付面になります。
※カバーが入りにくい場合はゴムの貼る位置の変更を行ってください。
- 芯材上部にタップが切られていますので、カバーの穴と合わせていたずら防止ねじL=20の取り付けを行ってください。
- 下部の穴に合わせてφ3.5のドリルで下穴をあけ、いたずら防止ビスL=30の設置を行ってください。
下穴が小さいとビスを打ち込むことができず、ビス頭が取れてしまう可能性がありますので注意して施工を行ってください。



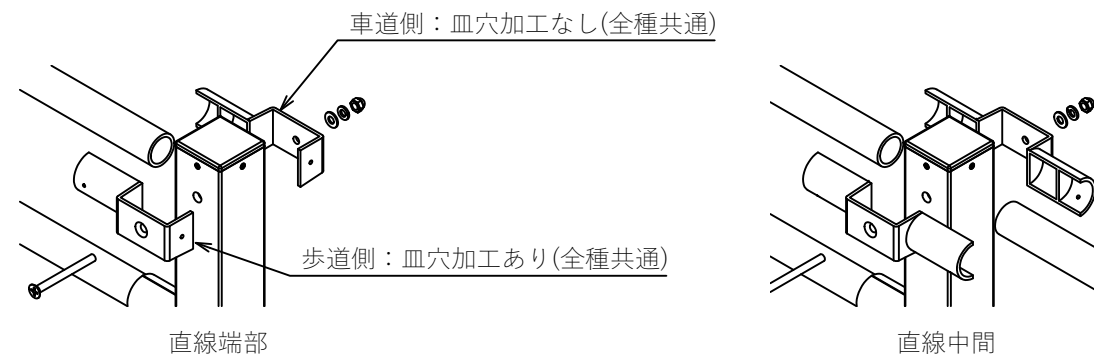
手順6 ビーム材カット

- 柱ピッチが3000mm未満の場合、柱ピッチに合わせてビーム材のカットを行ってください。
ビーム長さは柱ピッチ△220mm±5mmとなるように調整を行ってください。



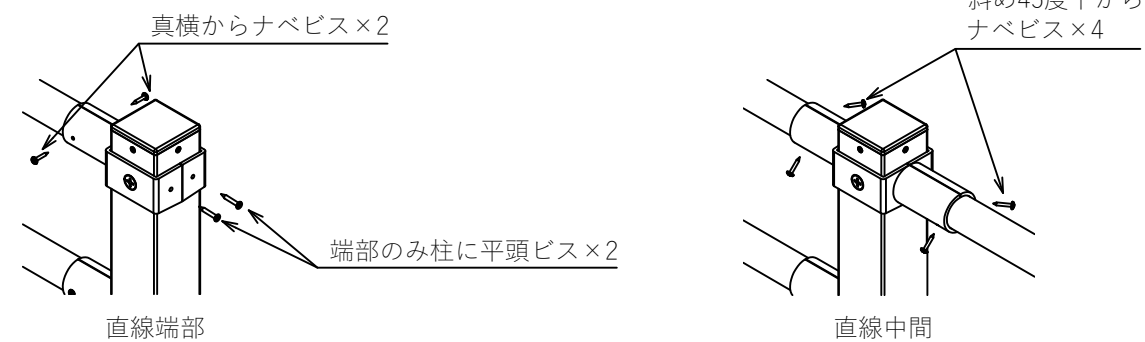
手順7 抑え金具、ビーム材取付

- カバー材の穴の位置に合わせて抑え金具の取り付けを行ってください。
この際、歩道側にサラ小ねじ頭がくるように取り付け部材に注意してください。
抑え金具の歩道側・車道側でビーム材を挟み込みながら取り付けを行ってください。
- 皿小ねじを歩道側から差し込み、反対側からワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットの順に締めて固定を行ってください。
反対に設置すると歩行者のケガや衣服類の破損につながる恐れがあります。



手順8 ビーム材固定

- 取り付けの際は抑え金具が水平となるように注意してください。
- 端部のみ、平頭ビスで柱に固定を行ってください。
- 抑え金具のビス穴に沿ってナベビスでビーム材の固定を行ってください。
※ビスを打ち込みすぎるとビス頭が取れてしまう可能性があるため注意してください。
抑え金具の左右にずれがある場合はハンマーなどで軽く叩いて調整を行ってください。
※叩く際は柔らかいものを巻くなどして表面に傷及び破損がないように注意してください。



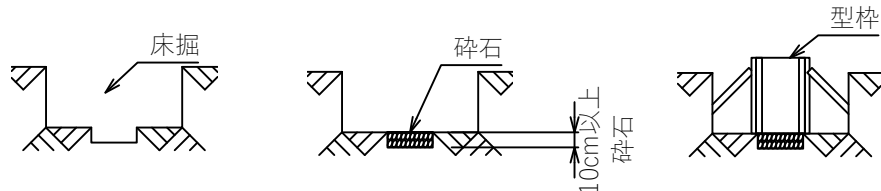
手順9 ビス等ゆるみ確認

- 取り付けた小ねじ、袋ナット、ビスにゆるみがないか再度確認を行ってください。
ビーム材にがたつきがないか確認を行ってください。
※小ねじ、袋ナット、ビスが緩んでいるとケガや製品の破損につながる場合があります。

■施工手順（勾配タイプ コーナータイプ 勾配-コーナータイプ）

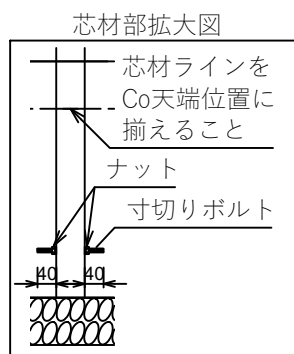
手順1 床掘、碎石、型枠設置

- 打設するコンクリートサイズより妥当な範囲で床掘を行ってください。
その後10cm以上の厚さで碎石を施工し、打設する場所にコンクリートの側圧に耐えられ脱型が行える型枠の設置を行ってください。
なお、コンクリートサイズはN値より妥当なサイズ設定を行ってください。
N値が10の場合「防護柵設置基準・同解説 ポラード設置便覧」では300mm×300mm×高さ400mmと規定されています。



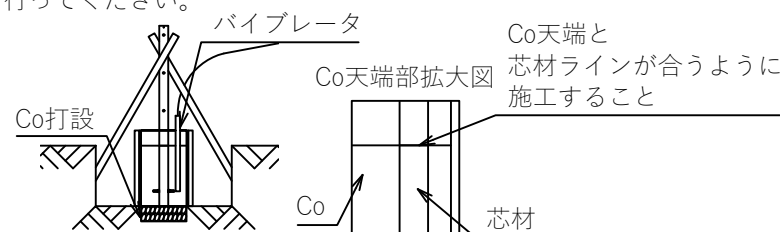
手順2 芯材設置

- 芯材の設置は、図面を参照し芯々ピッチ及び芯材の向きに注意して行ってください。
設置位置・高さ・角度が異なるおよび垂直となっていない場合、ビーム材が取り付けられない恐れがあります。
- 芯材は垂直に設置を行ってください。
- 芯材に寸切りボルトを入れナットで挟み込んで固定を行ってください。
その際寸切りボルトの出幅が左右対称としてください。
- 芯材に線がついていますので、線がコンクリート天板に来よう設置を行ってください。
その際コンクリート打設時に芯材が動かないようしっかりと固定を行ってください。



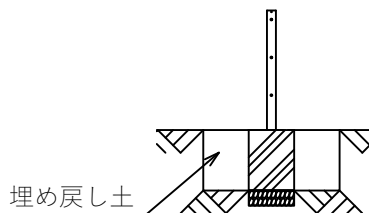
手順3 コンクリート打設

- コンクリート打設を行ってください。
その際ジャンカなどができないようバイブレータによる締固めを行ってください。



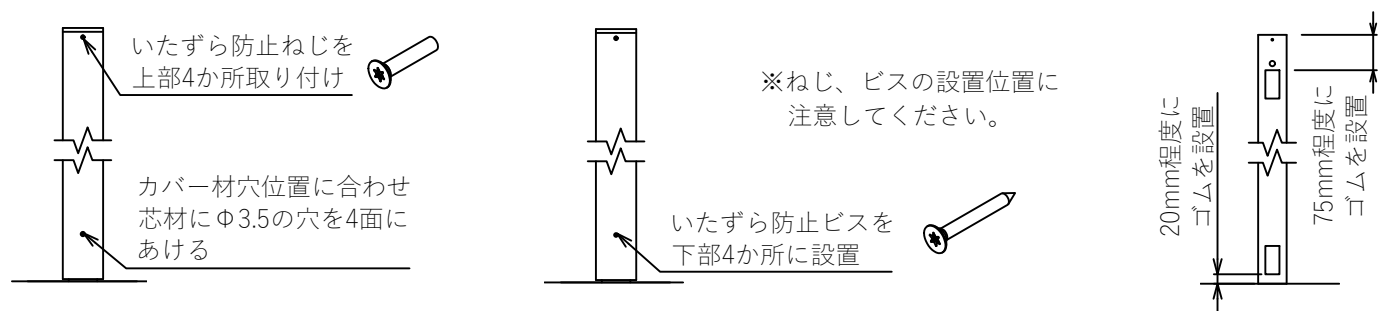
手順4 脱型埋め戻し

- 適正期間、方法でコンクリートを養生し、脱型を行い埋め戻しを行ってください。



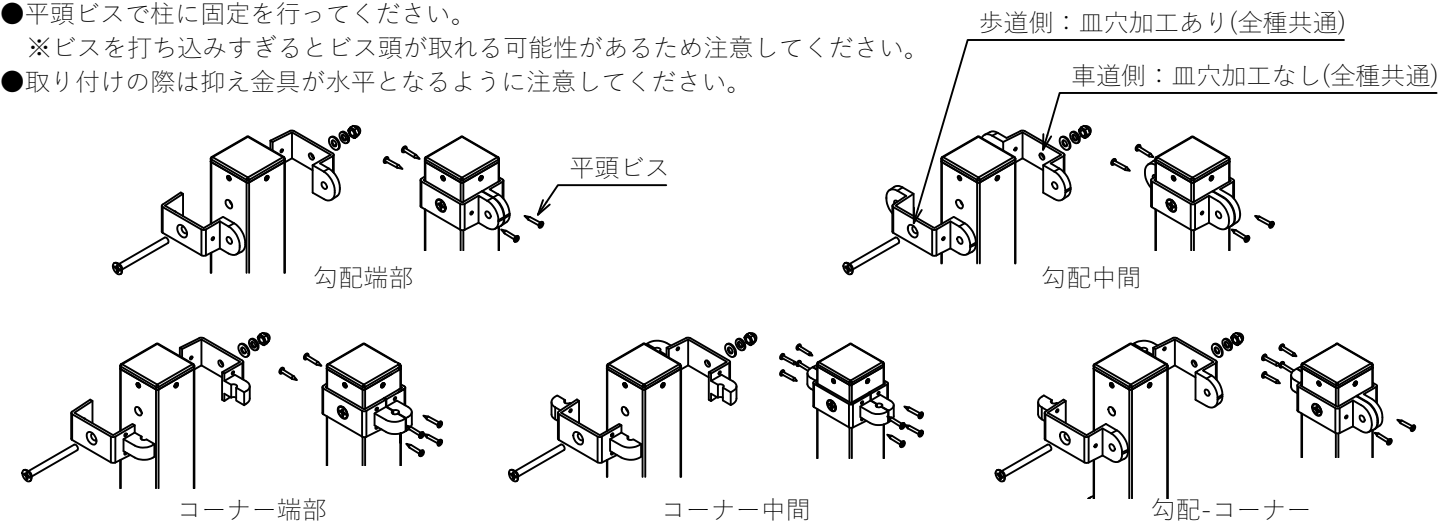
手順5 カバー材設置

- 芯材に同梱しているゴムを上部に4枚、下部に4枚貼り付けを行いカバーをかぶせてください。
この際、カバーの向きに注意してください。穴が縦に3箇所開いた側面が手順7の抑え金具取付面になります。
※カバーが入りにくい場合はゴムの貼る位置の変更を行ってください。
- 芯材上部にタップが切られていますので、カバーの穴と合わせていたずら防止ねじ L=20の取り付けを行ってください。
- 下部の穴に合わせてφ3.5のドリルで下穴をあけ、いたずら防止ビス L=30の設置を行ってください。
下穴が小さいとビスを打ち込むことができず、ビス頭が取れてしまう可能性がありますので注意して施工を行ってください。



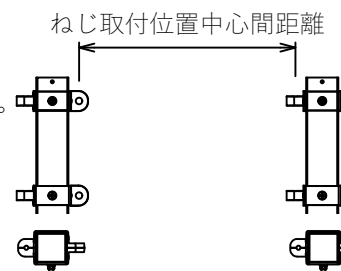
手順6 抑え金具取付・固定

- カバー材の穴の位置に合わせて抑え金具の取り付けを行ってください。
この際、歩道側に皿穴ねじ頭がくるように取り付け部材に注意してください。
- 皿穴ねじを歩道側から差し込み、反対側からワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットの順に締めて固定を行ってください。
反対に設置すると歩行者のケガや衣服の破損に繋がる恐れがあります。
- 平頭ビスで柱に固定を行ってください。
※ビスを打ち込みすぎるとビス頭が取れる可能性があるため注意してください。
- 取り付けの際は抑え金具が水平となるように注意してください。

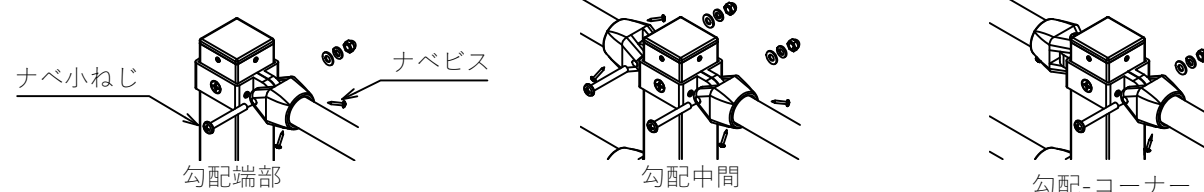


手順7 ビーム材カット・取付・固定

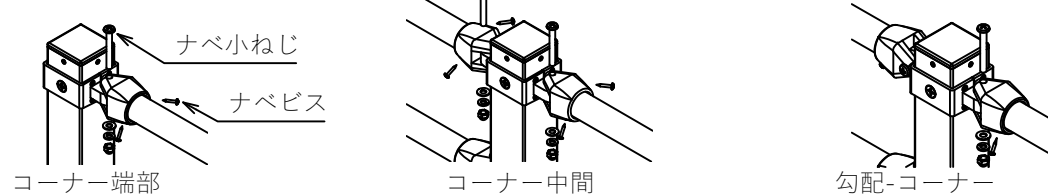
- 金具のナベ小ねじ取付位置の中心間距離が2858mm未満の場合、取付位置中心間距離に合わせてビーム材のカットを行ってください。
ビーム長さはナベ小ねじ取付位置中心間距離△78mm±5mmとなるよう調整を行ってください。
- キャップにビーム材をはめこんだ状態で取り付け金具の穴とキャップの穴が重なるようにキャップの取り付けを行ってください。
※先にキャップのみを設置するとビーム材が取付けられなくなりますので注意してください。
- 勾配タイプは歩道側から、コーナータイプは上からナベ小ねじの差し込みを行ってください。
この際、キャップのビス用下穴が下側にくるようキャップの上下に注意してください。
抑え金具にずれがありナベ小ねじが入らない場合は、抑え金具をハンマーなどで軽く叩いて調整を行ってください。
※叩く際は柔らかいものを巻くなどして表面に傷及び破損がないように注意してください。
- ナベ小ねじの反対側からワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットの順で締めて固定を行ってください。
- キャップのビス穴に沿ってナベビスでビーム材の固定を行ってください。
※ビスを打ち込みすぎるとビス頭が取れる可能性があるため注意してください。



勾配タイプ・・・歩道側からナベ小ねじ



コーナータイプ・・・上からナベ小ねじ



手順8 ビス等ゆるみ確認

- 取り付けた小ねじ、袋ナット、ビスにゆるみがないか再度確認を行ってください。
ビーム材にがたつきがないか確認を行ってください。
※小ねじ、袋ナット、ビスが緩んでいるとケガや製品の破損につながる場合があります。

●お問合せ

フクビ化学工業株式会社
事業開発本部 まちづくり事業推進室
〒140-8516 東京都品川区大井1丁目23番3号
TEL : 03-5742-6321
MAIL : gks@fukuvi.co.jp